

[医療介護総合確保基金(医療)について提案のあった要望事項に係る協議について]

①地域医療連携円滑化のためのメディカルスタッフの配置について

提案者：県東部医師会

## 1 提案事項

- ・地域の診療所から病院への患者紹介を円滑化し、患者の待機時間を短縮、負担軽減が図られるよう、病院の紹介受付を担当する看護師等のメディカルスタッフの充実を提案する。（早急な患者紹介を要する事案において受入調整に時間を要することで、患者に診療所待合での長時間の待機を強いることは患者に大きな負担となるため。）

## 2 現行での対応状況（地域医療支援病院・聴取）

- ・紹介患者の受入可否は、看護師等ではなく医師によって判断されている。
- ・直接医師同士での調整の場合は診療時間内であっても比較的スムーズな対応が出来ている。
- ・地域連携の窓口を通じての受診相談の場合、窓口から診療科の外来看護師を介して医師に連絡となり、また、担当医師の診察・検査・処置中などの状況によって医師への伝達に時間を要する場合がある。
- ・緊急性のある事案では、可能な限り直ちに窓口から医師等に繋げるようにしているが、医師への伝達が繋がらない場合には、診療所から直接電話で担当医師にご相談いただく場合もある。

## 3 提案に対する意見（地域医療支援病院・聴取）

- ・紹介患者の受入判断を短時間化するためには直接医師同士の調整が理想である。
- ・現行、患者受入判断は医師の判断によるため、医療スタッフの配置だけでは短時間化は困難か。
- ・医療スタッフの配置による受入判断の短時間化のためには、医療スタッフに対する一定程度の権限移譲と協力体制、応需に関する病院内での意思統一が必要となる。
- ・緊急を要する場合は救急での受入を検討してはどうか。
- ・限られた人材と経費の中で患者紹介の短時間化にどこまで資源を充てられるかは難しい問題。

## 4 今後の対応等

- ・現時点で基金（医療）への提案は行わない。
- ・紹介患者の受入判断は医師によるものであり、医療スタッフの配置だけでは短時間化は難しいとの病院側の御意見もあり、病院・診療所間の連絡体制やスキームを別途協議していただく必要があると思われる。